

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 11 週 (2026/3/9~3/15) 感染症発生動向調査速報値 (2026/3/18 時点)】

定点医療機関※新規患者報告数： **974** 人、定点医療機関当たり **20.29** 人

※急性呼吸器感染症定点 (旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科19定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

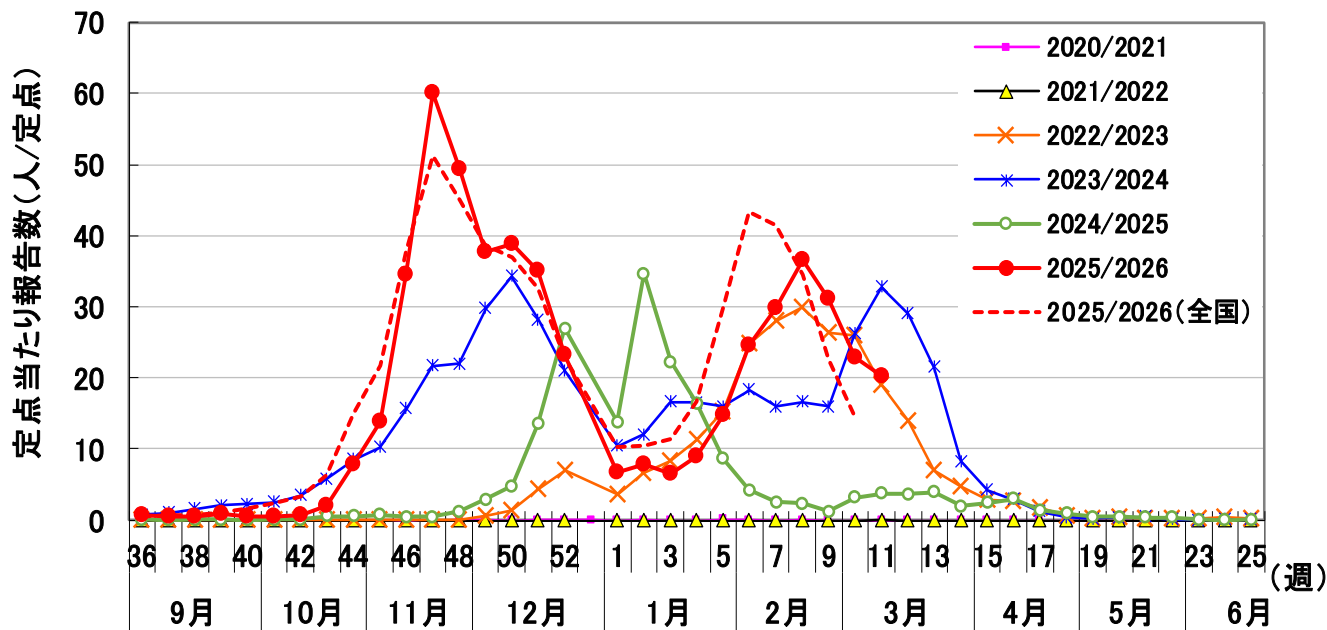
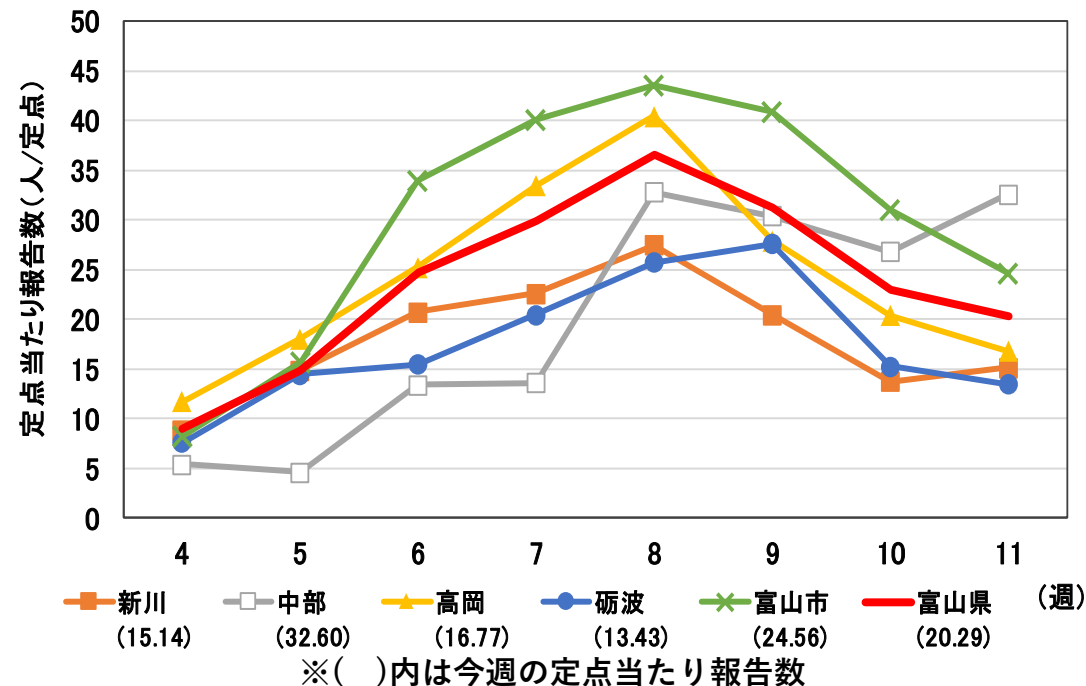
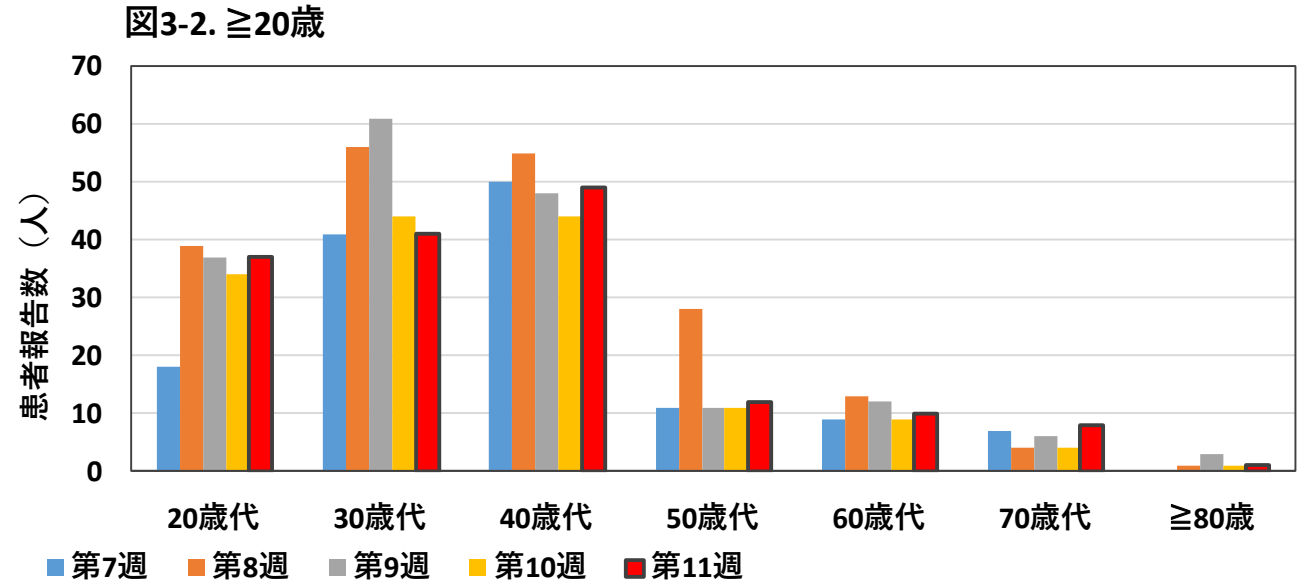
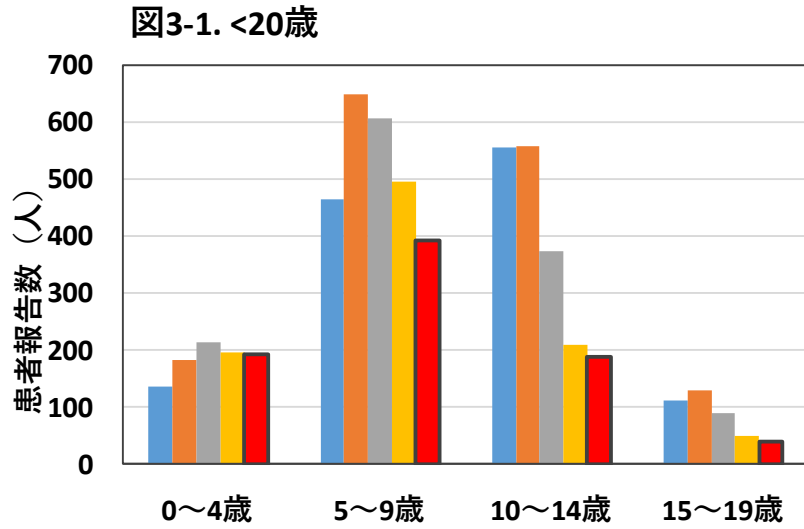


図2. 厚生センター・保健所管内別患者報告数の推移



- 富山県の患者報告数は今週20.29人/定点となり、先週 (22.90人/定点) から減少した (図1)。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、中部、新川管内を除くすべての管内で先週から減少した。中部管内では先週から増加し、警報開始基準の30.0人/定点を超えている (図2)。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 20歳未満、30歳代で先週から減少した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第10週)

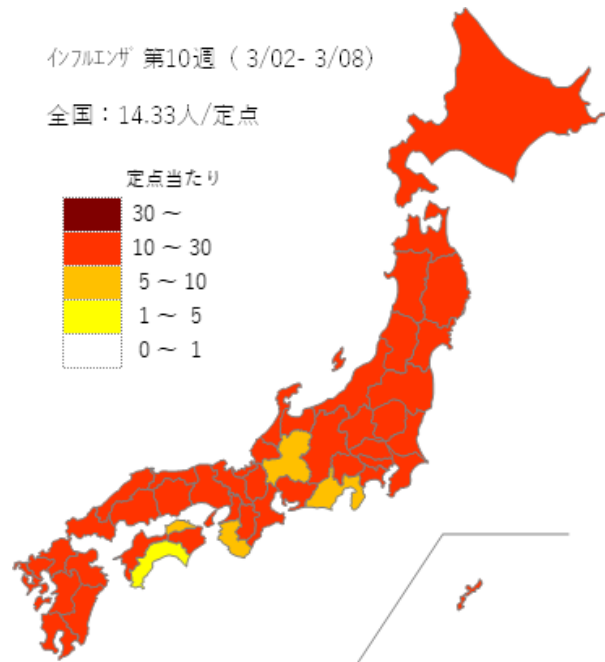


図5. インフルエンザ入院サーベイランス
 患者報告数の推移 (富山県)

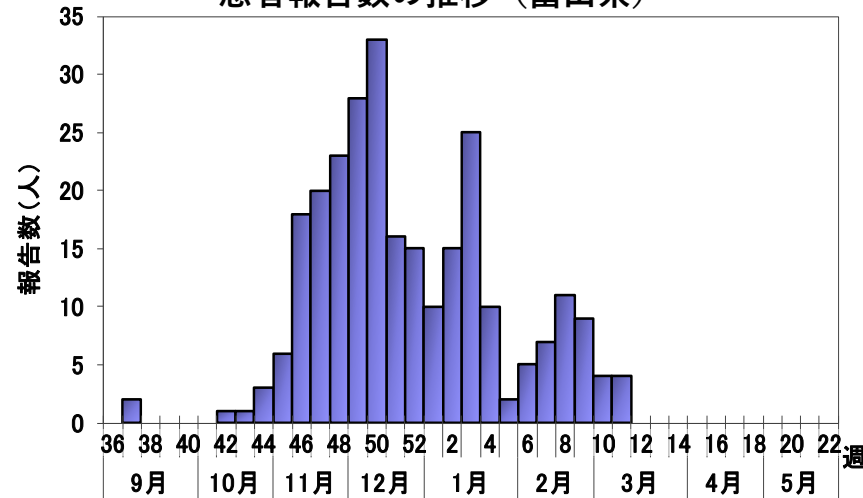
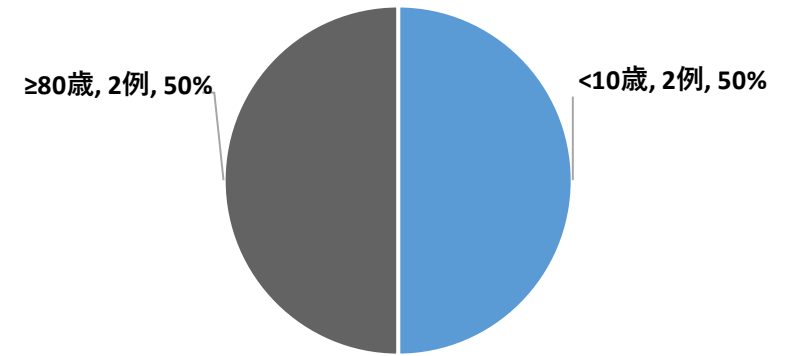


図6. インフルエンザ入院サーベイランス
 年代分布 (第11週、4例)



- 全国では第10週に14.33人/定点となり、第9週 (22.68) から減少した。都道府県別では、42都道府県で警報レベルの終息基準である10.0人/定点を超えている (図4)。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週4例の報告があり、先週 (4例) から横ばいとなった (図5)。
- 入院患者の年代は、10歳未満、80歳以上各2例で、70歳以上が50%を占めた (図6)。
- 第11週はインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が11件 (小学校8件、中学校3件) あった ([富山県インフルエンザ関連情報](#))。
- 県内の患者報告数は減少傾向にある。B型の検出割合は88.7% (第10週89.4%) と依然多くを占めており ([富山県感染症発生動向速報2026年第11週](#))、引き続き発生動向を注視する必要がある。